

# 共同利用・共同研究成果発表会

日時：平成 26 年 3 月 10 日（月）13：00～17：50

～平成 26 年 3 月 11 日（火）9：00～12：00

会場：高知大学 海洋コア総合研究センター 2 階セミナー室

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動の要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された共同利用研究施設です。

この成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

3 月 10 日（月）

13:00-13:10 開会挨拶

13:10-14:40（座長：村山 雅史）

- O-01 「Eusthenopteron foodi（カナダ産デボン紀）の歯の組織構造と槽生性結合」三島 弘幸（高知学園短大）ほか
- O-02 「沿岸生態系における炭素循環：ブルーカーボン研究」桑江 朝比呂（港湾空港技術研究所）ほか
- O-03 「沿岸域～深海平原における生物源堆積構造とその古環境学的意義の解明」清家 弘治（東京大）
- O-04 「2011 東北地方太平洋沖地震津波による気仙沼湾の地形変化と湾内津波堆積物の特徴」原口 強（大阪市大）
- O-05 「バイオマーカーを用いた津波堆積物同定手法の確立：2011 年東北沖津波が残した痕跡」篠崎 鉄哉（筑波大）ほか
- O-06 「岩石磁気学的手法による火山性タービダイトと降下火山灰の識別  
—IODP, EXP340 航海での掘削試料を例に—」齋藤 武士（信州大）ほか

14:40-16:20 ポスター発表：概要紹介、引き続いてコアタイム

- P-01 「岡山県備前市佐山古窯群および里庄町里見山中遺跡の考古地磁気測定」畠山 唯達（岡山理大）ほか
- P-02 「エチオピア・アファールの洪水玄武岩による古地磁気学的研究」安 鉉善（神戸大）
- P-03 「IODP Exp.322/333 で得られた海底玄武岩試料の古地磁気・岩石磁気」小田 啓邦（産総研）ほか
- P-04 「沖縄本島東沿岸—深海底堆積物中の強磁性粒子分布」川村 紀子（海上保安庁海上保安大学校）
- P-05 「琵琶湖北湖第一湖盆、極表層堆積物の磁気特性の地域差と季節変動(2)」石川 尚人（京都大）
- P-06 「千倉層群畑層上部オールドバイ上部境界付近における酸素同位体層序」岡田 誠（茨城大）ほか
- P-07 「Bonaparte 湾における海洋酸素同位体ステージ 3 および 2 の海水準変動・堆積環境復元」石輪 健樹（東京大）ほか
- P-08 「貝形虫殻の Mg/Ca を用いた後期鮮新世における日本海の温度勾配」山田 桂（信州大）ほか
- P-09 「インド洋海底堆積物を用いた前期始新世の短期的地球温暖化イベントに関する研究」安川 和孝（東京大）
- P-10 「西オーストラリアの約 27 億年前の陸上掘削黒色頁岩中の有機物の地球化学：  
窒素・炭素の安定同位体組成から探る海洋の窒素循環と微生物活動の記録」小谷 惇（東邦大）ほか
- P-11 「南アフリカ古原生代 Makganyen 層ダイアミクタイトのケロジェンと炭酸塩の炭素同位体分析」藪田 ひかる（大阪大）ほか
- P-12 「<sup>14</sup>C, <sup>13</sup>C, <sup>15</sup>N を用いた海草場堆積物における有機物特性の解析」渡辺 謙太（港湾空港技術研究所）ほか
- P-13 「X 線 CT 画像のビームハードニング偽像を抑制できるタンゲステン系造影剤の提案」中島 善人（産総研）

16:20-17:50（座長：山本 裕二）

- O-07 「美濃帯三畳系チャートの古地磁気層序学」上原 大生（岡山大）ほか
- O-08 「古地磁気解析から推定される一志層群（下部中新統）堆積岩の年代と回転運動」星 博幸（愛知教育大）ほか
- O-09 「JFAST 航海で得られた日本海溝プレート境界試料の古地磁気分析」三島 稔明（大阪市大）ほか
- O-10 「房総半島上総層群 Matuyama-Brunhes 極性反転境界における岩石磁気・古地磁気学」岡田 誠（茨城大）ほか
- O-11 「花崗岩中の強磁性鉱物分析に基づく微細クラック形成メカニズムの研究」伊藤 康人（大阪府大）
- O-12 「川砂ジルコンの岩石磁気測定」佐藤 雅彦（九州大）ほか

3 月 11 日（火）

9:00-10:15（座長：岡村 慶）

- O-13 「鉛直水温構造復元から探る熱帯太平洋大気海洋相互作用の長期動態」佐川 拓也（九州大）
- O-14 「中新世以降の北西太平洋深層水塊特性変化：DSDP296 サイトより」岡崎 裕典（九州大）ほか
- O-15 「堆積物コア試料の岩石磁気分析による 2.2～2.7Ma の北大西洋深層水変動」大野 正夫（九州大）ほか
- O-16 「東地中海沖の海底塩水湖（KH06-04）における過去 5～21 万年前の栄養塩状態と酸化還元状態の変動：  
鉄—硫黄—リンの存在種別定量の結果」南 宏明（東邦大）ほか
- O-17 「沖縄トラフ海底熱水域の硫化物鉱石中の重晶石の放射非平衡年代測定」豊田 新（岡山理大）ほか

10:35-11:50（座長：池原 実）

- O-18 「鹿児島県薩摩硫黄島長浜湾における褐色海水域の長期観測」養和 雄人（九州大）ほか
- O-19 「薩摩硫黄島における浅海熱水環境中での鉄とシリカに富むマウンドの構造解析」倉富 隆（九州大）ほか
- O-20 「ガーナ海岸グリーンストーン帯の地質：23 億年前の海底環境の復元」清川 昌一（九州大）ほか
- O-21 「西オーストラリア・デキソンアイランド層の形成史と 32 億年前の海洋環境」相原 悠平（九州大）
- O-22 「オーストラリア・ピルバラにおける 32 億年前の DXCL 掘削コア中の炭素・硫黄同位体分析」三木 翼（九州大）ほか

11:50-12:00 閉会挨拶

\*共同利用・共同研究は、独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て実施されています。

事務局：高知大学 海洋コア総合研究センター TEL: 088-864-6712  
URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>

